

夢から広がる私の世界

筑波大学附属小学校 五年 春木 絵莉香

「自分が好きだと思ふことを仕事にした  
らいいと思うよ。」将来は何になったら  
いいと思う？と母に聞いてみた時の返事  
だ。楽しい気持ちがないと続かないし、  
その中で自分の個性を生かしながら、豊  
かな人生を歩んでほしいというのが理由  
だそう。

私が好きなことは何か。小さい頃から  
変わらず好きなことは、本を読んで今ま  
で知らない新しい世界を知ること、絵を  
描いたり制作すること、お菓子を作るこ  
と、音楽を聴いたり演奏することだ。こ  
れらに共通しているのは、自分の想いや  
感覚を形や音にして表現することだ。そ  
れに最近、朝ドラの影響で法律関係の  
仕事も面白そうだと思ひ始め、興味の範  
囲はどんどん広がっている。好きなこと  
はたくさんあって、とても一つには絞り  
切れそうにない。  
私の母は会社員だ。就職してからずつ

と同じ会社で働いている。以前は毎日会  
社に行つて仕事をしていたが、コロナ禍  
以降は在宅で仕事をしている日もあり、  
パソコンに向かつて何かを打つていたり、  
時にはズームでミーティングをしながら  
働く母の姿を目にするようになった。母  
は好きなことを仕事にできたのだろうか。  
母からは、「好きかどうかは分からない  
けれど、続いているということは向いて  
いたということかしらね。」と曖昧な返  
事が返つてきた。好きなだけでなく、得  
意なことでも長く続けられるということか  
もしれない。  
そんな母と夏休みに藤井風のコンサー  
トに行つてきた。入場するまでの長蛇の  
列を抜けるとそこには私達をわくわくさ  
せる夢の空間が広がっていた。ステージ  
には、草木が生い茂り、まるで本物の荒  
野の中にあるような奥行きのある風景だ  
った。ステージ後方には巨大なデジタル

ビジョンがあり、コンサートが進むにつ  
れて、まるで実際の空と連動しているか  
のように昼から夜へと移り変わる空の景  
色を映し出していった。会場のものが  
融合し、観客である私達も特別な空間を  
構成する一員になれた、そんな素敵な感  
覚だった。そして、音楽の素晴らしさに  
感動すると同時に私はこういう空間を演  
出して周りの人を幸せにするアーティスト  
になりたいと強く思った。  
デジタルアーティストになるためには、  
デザインや映像、コンピュータなど  
様々な勉強が必要だ。それにもちろん私  
の感性を磨くことも大切である。今は学  
校の勉強を第一に美学芸術学科がある大  
学に入ることが目標だ。その後は、デジ  
タルテクノロジーが進んでいるアメリカ  
でも勉強したいと思つている。  
好きなことや得意なこと、自分らしさ  
とは何かを探している途中の私には、大  
人が働く意味について本当の所はまだ分  
からない。でも、夢の先に広がる私の世  
界をいつか見てみたいし、そのためは今  
は前を向いて走り続けたいと思う。

夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢 : その仕事や夢を選んだ理由

デジタルアーティスト : アートで世界中の人を幸せにしたい

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう

- ・感性を磨くための習い事(ピアノ・バレエ・アート)
- ・海外の人とのコミュニケーションに必要な英語力
- ・学費、塾代、留学費用

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
12歳	小学校 学校の勉強を頑張る。 習い事で教養を身につける。英検2級を取る。
13歳	中学校 学校の勉強を頑張る。文化系(美術か音楽か家庭科)の部活に入る。 英語で英検準1級を取る。
15歳	
16歳	高校 受験勉強を頑張る。 体力をつける。
18歳	
19歳	大学 大学入学。 海外留学をする。
20歳	
22歳	
23歳	大学院 アメリカの大学院に入学。
24歳	
25歳	
30歳	仕事 デジタルアーティストとして活躍して、イベントに参加して、みんな幸せにする。

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと

- ・海外に住んでみたい
- ・クルーズ船のプールで遊んでみたい
- ・世界のおしゃれな文房具屋さん巡りをしたい

\*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。